

日本でも少し前に昆虫食が注目されたりしましたが、カンボジアも他の東南アジアの国々のように色々な昆虫食が食べられています。中でもコオロギは高タンパクで栄養も豊富で最も多く食されている昆虫食です。



プノンペンのリバーサイドでコオロギの販売を行っているソカーさん一家、最近では地元の人々に加えて観光客にも人気の店となり、香港や中国にも販売が始まったということで、北部の農村部でコオロギを捕獲するための罠を大量に設置して運搬用の軽トラックが必要だということで融資をさせて頂いています。

カンボジアの農村部の道を車で走っていても、田んぼのまわりなどに罠が設置されているのを見ることができます。ブラックライトを点灯させるとコオロギが飛んできて透明のプラスチックにぶつかり水槽に落下して捕らえるというものです。



こうして捕らえたコオロギに水だけを与えて2, 3日待って体内の不純物がすべて排出させてから油で炒めるとエビのように香ばしいものになります。



なかなか日本ではまだ歓迎されているとは言えませんが、今後うまく加工され安全性も確保されれば大きな産業となってカンボジアの発展にも寄与できるものだと期待してソカーさんのようなベンチャー的な事業の成長を見守っていければと思っています。

2026年01月01日

磯部正広